

## 変更通知および変更時審査の撤廃のお知らせと年次報告のお願い

2016年12月21日

一般社団法人日本技術者教育認定機構

会長 有信 睦弘

### 【要旨】

1. JABEE は認定審査のうち「変更通知」および「変更時審査」を撤廃しました。
2. JABEE は認定の有効期間中の全てのプログラムに対して、「年次報告書」の提出を毎年度初めに求めます。

### 【本文】

JABEE は、第三者評価による教育プログラムの認定を通じて教育機関による技術者教育の継続的、自律的な改善を後押しし、国際的な通用性を向上させることを活動目的としています。この目的に沿い、プログラム自身による継続的かつ積極的な改善を JABEE は一貫して奨励してきました。しかしながら、JABEE の認定を受けている、あるいは認定取得を検討している教育機関から、JABEE の認定を受けると改組やカリキュラム変更がやりにくく、教育改善の制約になるという意見が少なからず寄せられていることから、JABEE の基本方針が十分に伝わっているとは言えません。ご意見をお寄せいただいた教育機関にはその都度ご説明しておりますが、その際に「変更通知」および「変更時審査」が障壁であると具体的にご指摘いただくことがあります。

「変更通知」とは、プログラムの名称など公表事項に変更があった場合や、認定プログラムに認定の継続に係わるような大きな変更があった場合にその内容をお知らせいただくものです。ご提出いただいた「変更通知」は認定・審査調整委員会にて確認・審議の上、認定の継続可否を判断する必要がある場合に「変更時審査」を実施することとしています。この「変更通知」に対して JABEE が変更の「許可」を与えるためのものという誤解があり、教育機関の自発的な改善を抑止するとの声がありました。一方、これまでにご提出いただいた 400 件以上の「変更通知」を審議した結果、実際に「変更時審査」を要する事例は非常に少なく、ほとんどの変更は何らかの教育改善に関わるものでした。すなわち、JABEE が想定している範囲を超えて「変更通知」が提出されているのが実態と言えます。

教育政策に目を移しますと、科学技術基本計画（2016年1月閣議決定）により、教育や研究を通じて社会に貢献するとの認識の下での抜本的な大学改革と機能強化が求められています。関連して、国立大学改革プラン（2013.11）により自主的・自律的な改善・発展を促す仕組みの構築と社会の変化に対応できる教育研究組織づくりが求められ、第3期中期目標期間内に教育研究組織や学内資源配分について恒常的に見直しを行う環境を生み出すという目標が立てられました。この影響は、特に理農工系学部では国立高専や公立・私立大学にも及んでいます。このような国の教育方針によっても、教育機関は改善を

目的として今後ますます変更されることが予想されます。

以上の、(1)認定継続の可否に係わる変更は多くない、(2)教育機関は自発的に教育改善にますます取り組む、の2点を鑑み、JABEEの認定が教育機関の継続的、自律的な改善を促進することを改めて明確にするために、このたび「変更通知」と「変更時審査」を撤廃することといたしました。

一方で、JABEEは認定プログラムと教育機関の正確な名称を常に把握する必要があります。これは、国内外に向けて名称を公表する義務があることと、また技術士第一次試験免除対象として文部科学省に名称を届け出る義務があることの2点からなります。また、認定の有効期間中の教育改善活動の概要を把握し、統計的処理の後に認定プログラム全体の状況を社会に公表したり、効率化を含む審査の質向上につなげたりすることも重要と考えます。そこで、プログラムの運営と改善(変更)に係わる最小限必要な情報を適時的確に把握するために、認定の有効期間中である全てのプログラムに対して「年次報告」を別紙に定める書式によって2017年度からご報告いただくことといたします。

つきましては、変更通知と変更時審査の撤廃の主旨をご理解いただくとともに、2017年度からの年次報告書のご提出にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 記

### 1. 変更時審査および変更通知の撤廃の時期

首記の日付をもって撤廃の通知とさせていただきます。すでに提出いただいた変更通知につきましては、プログラムや組織等の名称変更を記録する他は、特にJABEEからの問い合わせや回答は行いませんのでご承知置きください。

### 2. 年次報告書の提出時期

毎年4月ないし5月に前年度審査の「サマリーレポート」をお送りするのと合わせ、年次報告書の様式とご提出の案内をお送りいたします。なお、年次報告書の様式はJABEEウェブサイトの下記URLのページからもダウンロードできます。

<http://www.jabee.org/accreditation/basis/documents/>

### 3. 自己点検書への改善・変更の記載

アウトカムズ評価の原則から最上級生が履修するプログラムが公式の審査対象になりますが、変更後のプログラムの修了生が次回審査の前に修了する場合も有り得ることから、変更内容も踏まえて審査を行います。

具体的には、自己点検書(概要編)「プログラム概要」および「最近の教育改善活動の状況」に、認定継続審査と中間審査の場合は前回審査後の、また新規審査の場合は

JABEE 認定対象プログラム設置後のプログラム変更や教育改善の状況を説明していただくようにいたします。

#### 4. お問い合わせ、ご相談

改組や変更が非常に大きく、認定プログラムの継続的運営や履修生・修了生の扱い等について判断にお困りの場合は、年次報告書末尾の「相談、確認」の欄にご相談されたい事項を記入してお知らせください。所掌の分野別審査委員会および認定・審査調整委員会が検討し、回答いたします。

なおご相談いただく時期は、変更の検討・計画段階あるいは決定後のいずれでも結構ですが、原則としてプログラムの変更が開始される時期までにご相談ください。

以上

【別紙】

## 2017年度JABEE認定プログラム年次報告書

の部分にご記入ください。年は西暦をご記入ください。

の部分はプルダウンリストから選択してください。

名称やプログラム責任者等の変更がある場合は次ページにご記入ください。

報告日(西暦) 年 月 日

### 名称／責任者／修了生数

教育機関・組織名称					
プログラム名称					
認定分野					
JABEE対応責任者 <sup>注1</sup>	(所属・役職)				
	(氏名)				
	e-mail:		TEL:		
プログラム責任者 <sup>注1</sup>	(所属・役職)				
	(氏名)				
	e-mail:		TEL:		
修了生数	2016年度	(学科卒業生)	名	(プログラム修了生)	名
	2015年度	(学科卒業生)	名	(プログラム修了生)	名
	昨年度の報告からの修正があった場合は、その理由をご記入ください。				

注1: 変更前後の複数のプログラム(カリキュラム)が存在し、それぞれ責任者が異なる場合は、本年度の4年生が履修するプログラムの責任者をご記入ください。

### 教育点検活動・教育改善活動の実施

教育点検活動	「認定基準4.1教育点検」を実施していますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
教育改善活動	「認定基準4.2継続的改善」を実施していますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
(活動についてのコメント、補足等がある場合は以下にご記入ください。)			

\* 名称等の変更があった場合は次ページへ

## 名称等の変更

※ 変更の計画が確定したら以下にご記入ください。

※ プログラムや組織の名称は文部科学省により公表されますので、必ず正式な名称をご記入ください。

変更(予定)年月	年	月	変更後の最初の修了生が卒業する年度	年度
教育機関・組織名称				
プログラム名称				
JABEE対応責任者	(所属・役職)			
	(氏名)			
	e-mail:		TEL:	
プログラム責任者	(所属・役職)			
	(氏名)			
	e-mail:		TEL:	
変更後	<p>プログラムの形態</p> <p>※ 変更前及び変更後のプログラムの形態に該当する番号を選択してください。ただし、「学科」は高専の場合「専攻科」、修士課程の場合「専攻」と読み替えてください。形態が1から5までの分類に当てはまらない場合は、6(その他)を選択し、形態を記入してください(文字数が多い場合は行幅を拡張し、行の追加はしないでください)。</p> <p style="text-align: center;">変更前 <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 50px; height: 15px; background-color: #d9ead3;"></span> 変更後 <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 50px; height: 15px; background-color: #d9ead3;"></span></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学科全体で本プログラムを構成している</li> <li>2. 学科の中に本プログラムとそれ以外の部分がある</li> </ol> <p>以下は高専を除く</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 複数の学科全体で本プログラムを構成している</li> <li>4. 複数の学科で本プログラムを構成し、構成する学科内には本プログラム以外の部分がある</li> <li>5. 建築設計・計画系学士課程及び修士課程の計6年間の課程からなるプログラムである</li> <li>6. その他 ( <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 200px; height: 15px; background-color: #ffff00;"></span> )</li> </ol>			

## 相談・確認

※ 改組や変更が非常に大きいため、認定プログラムの運営や履修生・修了生の扱い等について判断にお困りの場合は、所掌委員会が回答いたしますので、以下にご相談されたい事項を記入してお知らせください。

### 【注意】変更についての自己点検書への記載

下記の例にあるような認定プログラムの教育内容の変更は次回審査における重要な点検対象になりますので、次回審査の自己点検書「概要編」に変更時期ごとに変更内容を簡明に記載してください。必要であれば、変更前後の対照表などを「添付資料編」に加えてください。

《教育内容の例》

育成する技術者像／学習・教育到達目標／カリキュラム／教員／プログラム履修登録・編入ルール／達成度評価方法／プログラム修了要件／教員構成／教育点検・改善活動 等

なお、アウトカムズ評価の観点から、4年生が履修するプログラムが公式の審査対象になりますが、審査年度の3年生以下に変更があった場合、認定の有効期間内に変更後の修了生が出ることに差支えないかという観点から、変更後のプログラムも合わせて審査します。

以上